

No	題名	分類・時間	内容
130	いのちの輝く灯	アニメーション 48分 1999年制作	人生の途中で障がいを持つ身となった美津子とその恋人・雅人（母親が同和地区出身）、そして盲目の老人・昭吉との関わりや家族を含めた周囲の人々との関係を通じて、「人権」とは何かを問いかけ、なで人が人権を無視し、差別するのか？また、人が生きていくうえで大切な「同胞の精神」とは何なのかを見る人になげかける作品です。
132	人権ってなあに 1 あなたへのメッセージ(入門篇)	ドキュメンタリー 41分 1999年制作	「人権」って、言葉にするとなんだか堅苦しい。でも、あなたの周りで、「これって変だな？」と疑問に思うことって、きっとあるはず。そのきっかけは学校、友達、恋人、職場etc、案外、身近な所に……。そんな小さなきっかけを大人になっても忘れずに、でもそれに縛られることなく、軽やかに生きていける各界で活躍されている5人の方からのあなたへのメッセージ集。
139	人権ショートストーリー 山本家の場合	ドラマ 12分 2000年制作	私たちは、日頃、気づかないままに人を傷つけていることがあります。この作品は、一つの家族をとおして、明るく、楽しく、面白く、人権問題について、考えるショートストーリーで、4話構成になっています。第1話 男女平等の日 第2話 仏滅鬼門 第3話 縁談と釣書 第4話 親子の友情
144	公正な採用って？	ドラマ 29分 2000年制作	公正な採用選考システムの確立のため、平成9年に「公正採用選考人権啓発推進委員」制度ができました。このビデオは、事業所における公正な採用選考実施の中心的役割をはたす公正採用選考人権啓発推進委員の役割等を紹介しながら、その活動を通じて、公正な採用選考について考えていく作品です。
164	人権の扉をひらく ～気づいていますか？身近な人権～(字幕スーパー入り)	ドラマ 25分 2004年制作	私たちは、固定観念や思い込みにより人を差別してしまうことがあります。そんな自分に気づくことが人権を考える上での第一歩です。この「気づき」を大切に、安易に同調するのではなく、人を「個」として捉え、主語を一人称にして考えることの重要性を訴える作品です。
166	人権入門 ～日常から考える 10のヒント～	ドラマ 23分 2005年制作	日常生活の中に、“人権”について考えるヒントがあります。45歳の平凡なサラリーマン、佐藤弘の1日を通して人権を考えます。チェックポイント①相手の立場②「社会の常識」を疑う③「家族サービス」って何？④人間外見だけでは⑤それはセクハラです⑥男のくせに女だてらに⑦外国人のイメージ 等。解説書付
168	人権感覚のアンテナって？ ～人権侵害・差別が みえてくる～ (字幕スーパー入り)	ドラマ 39分 2006年制作	何気なく悪気なく、また自分にとって都合が良いからといって、結果、人を貶め、苦しめてしまう「落とし穴」。「知らない」「見えない」「考えない」から生み出される、誰もが陥りやすい落とし穴だからこそ、偏見や差別、人権侵害について正しく知り、話し合い、学びあうことが大切です。そして、人権感覚のアンテナを張り、私たちの日常生活における意識と行動を見直してみましよう。解説書付

169	シリーズ第1弾 Jun&Kei の企業と人権	ドラマ 30分 2006年制作	<p>企業の人権研修をサポートする最適の作品です。</p> <p>「個人情報」「男性・女性」「障害者」「外国人」「部落差別」など、それぞれのテーマについての初級・入門編です。まず、人権漫才が視聴者の皆さんをエスコート、職場・地域での身近な事例をとりあげながら、再現ドラマ・ドキュメンタリー・デジタル劇画など多彩な手法で描いています。</p>
170	人権を行動する ～その時あなたはどう しますか？～ (字幕スーパー入り)	ドラマ 人権問題全般 25分 2007年制作	<p>人権は、現代社会を生きる私たちにとって重要なキーワードであり、人権を守る視点に立って考えていくことが今後ますます求められます。そのため、ふだんの何気ない日常の中での”気づき“を大切にすることが必要ですが、それを”行動“に結びつけていくところには更に大きなハードルがあります。</p> <p>この作品は、セクハラ、個人情報保護、部落差別の3つのケースを設定して、人権に対する気づきや行動を考えるビデオです。</p>
171	企業に求められる 人権意識とは？ (字幕スーパー入り)	ドラマ 人権問題全般 24分 2006年制作	<p>企業が社会の中で果たすべき責任はますます大きくなっています。企業には単に利潤だけを追求するのではなく、よりよい社会を築くために努力することが求められています。このビデオは、「企業の司会的責任・CSR」「採用選考の基準」「環境問題の取り組み」「ユニバーサルデザインへの取り組み」「派遣社員って」「障害者の社会参加」など、企業に求められる人権意識のあり方を、若い社員の目を通してわかりやすく描き、問題を提起する作品です。</p>
173	紡ぎだす未来 ～共に生きる～ (字幕スーパー入り)	ドラマ 人権問題全般 35分 2007年制作 (学習の手引き付)	<p>住宅販売会社で働く男性が、ある日父親から祖父母が部落出身だったことを告げられ、初めて差別される不安を感じるとともに、身近にいた在日コリアン2世の知人が感じるプレッシャーに思いをはせるようになる。また、社外セミナーの参加者から、外国人、同性愛者など偏見や差別を受けている当事者に思いをはせる人たちの存在に気づき、自分を受け入れて生きていこうと考えるようになるドラマ部分と、ビデオの出演者それぞれが何に気づき、どのように生きていこうと考えたのかというメッセージ部分からなるビデオです。</p>
188	家庭の中の人権 カラフル	ドラマ 人権問題全般 (多様性の社会) 31分 2014年制作 (DVD作品)	<p>主人公、福沢聡は大手商社に勤めながら、妻の優子と2人の子供と共に暮らしています。一見順風満帆な生活を送っている聡の最近の気がかりは、就職後すぐに会社を辞めてしまい、再就職しようともせずに、フリーターを続けている息子・一馬のこと。また、就活中の娘・愛美も社会や人間に対する考え方がまだ未熟で、端から見ていると危なっかしいのでした…。</p> <p>このビデオは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子供たちの会話を通じて家庭の中にある人権課題を取り上げた作品です。また、LGBT（性同一性障害）問題についても取り上げています。</p>

200	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	人権問題全般 (46分) 2014年製作 (DVD 作品)	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の回りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。
201	クリームパン	ドラマ 人権問題全般 (36分) 2010年製作 (DVD 作品)	昨今、あまりにも軽く「いのち」が扱われています。「いのち」の尊さを、子どもも若者も、もしかしたら大人も気づいていないのかもしれませんが。人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に、虐待やいじめなど、人を傷つけ、いのちを奪うのも「人」ならば、傷つき、死に瀕している人のいのちを数うのもまた「人」です。人と人がふれあい、心を通わせることで救えるいのちがあることを訴えています。
202	桃香の自由帳	ドラマ 人権問題全般 (36分) 2011年製作 (DVD 作品)	核家族化や都市化が進む中、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなってきています。同じ地域に暮らしていても、名前も知らず相手を誤解して排除するなど、気づかぬうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。この作品は、どの地域でも起こりうることに光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、見失いつつある人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かを語りかけています。
203	ヒーロー	ドラマ 人権問題全般 (34分) 2013年製作 (DVD 作品)	近年、社会から孤立する人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっています。家族や地域、職場でのつながり、つまりは血縁や地縁、社縁の希薄化によって引き起こされる問題です。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、何ができるのかを提起します。「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考えます。
205	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～	ドラマ等 (解説スタイル) 人権問題全般 (35分) 2015年製作 (DVD 作品)	世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権課題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、4つの人権課題(女性、子ども、障害のある人、外国人)とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介した作品。 50分の学習プログラムと90分の学習プログラムがあり、選べます。 (中学生や高校生、教師や一般社会人向け作品)

<p>209</p>	<p>わたしたちが伝えたい、大切なこと －アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品－</p>	<p>アニメ 31分 2016年制作 (DVD 作品)</p>	<p>「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。 入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。</p>
<p>211</p>	<p>企業と人権 職場からつくる 人権尊重社会</p>	<p>ミニドラマ・事例紹介 人権問題全般 (40分) 2017年制作 (DVD 作品) (字幕副音声版) (活用手引き付)</p>	<p>「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。そのため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れ、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。 この作品は、①企業にとって人権とは②ハラスメント③LGBT④障害者差別⑤外国人差別⑥えせ同和行為の問題を企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。</p>
<p>214</p>	<p>えっ！これも人権？ －4コマ劇場より－</p>	<p>4コマ漫画と実写 人権問題全般 (30分) (DVD 作品)</p>	<p>日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づかせる作品です。</p>